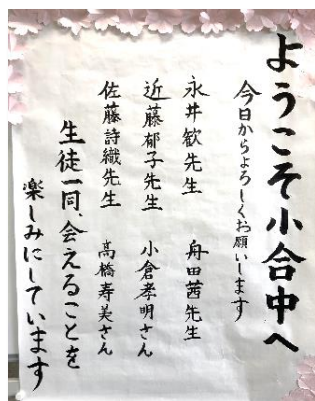




令和7年度 前期始業式

校長 永井 歓



名前は歓（かん）と読みます。私の誕生を両親はとても喜び、そのまま名付けられました。生徒の皆さんと沢山の喜びを共有したいと思っています。

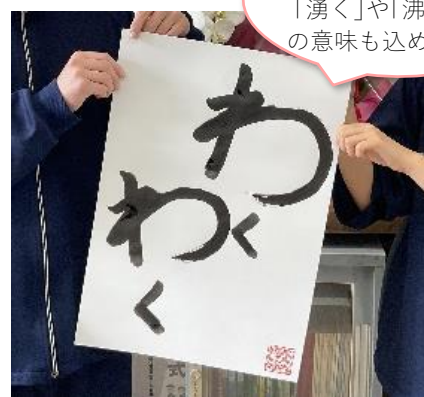
4月1日の朝、小合中の校舎に入って真っ先に目に入ったのは左のメッセージでした。初日のため不安を抱いていた私の心は一気に晴れ渡り、感謝とわくわくの想いが込み上げました。他の転入職員も同様だったことでしょう。作成してくれた〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、本当にありがとうございます。

学校は学びの場です。ぜひ覚えていてほしいことがあります。それは、学び、成長するのは生徒の皆さんだけではないということ。皆さんの周りには常に大人がいます。大人もまた、皆さんとともに学び、成長するのです。皆さんはすでに立派な一個人です。私よりも感性豊かであったり、特技を有していたりする人も沢山います。私が長けているとすれば、それは経験値なのでしょう。皆さんと沢山、かかわらせてください。皆さんとのかかわりが、私を成長させるのですから。小合中の教職員は、皆さんと一緒に活動し、ともに学び、成長するのです。ひとつのチームとして、協働を果たせることを心から願っています。とても楽しみです。

この想いを、皆さんに先んじて、〇〇さん、〇〇さんと共有しました。初めはメッセージのお礼だったのですが、楽しくて様々な話をし、気が付けばこれからの小合中への想いを語り合っていました。ひとつのチームとして同じ想いを抱き大切にして進みたい、という私の願いを、二人は快く受けてくれました。

〇〇さんが最初に語った言葉、それが「わくわく」でした。

〇〇さんは小合中第79代の生徒会長です。生徒会長としての想いが込められていました。それを〇〇さんがフォロワーという立場から、価値付けてくれました。このことは、始業式の中で、二人が皆さんへ語ってくれましたね。私も心から共感しています。



↑二人が想いを込めて書いてくれました



また、始業式では2年生を代表して〇〇さんが、3年生を代表して〇〇さんが、それぞれ想いを語ってくれました。〇〇さんの「挑戦したい」という強い想いを頼もしく感じました。〇〇さんの「楽しむ。日常を大切にしたい。」という想いにとても共感しました。最上級生だからこそ。一瞬を大切にする、との決意ですね。〇〇さんと〇〇さん、二人の想いもまた、「わくわく」と繋がっているように感じました。

「わくわく」は、すべての場面における私たちの原動力となります。小合中の生徒76名と教職員20名の合言葉のようになれば、と願っています。



「式 辞」



麗らかな春の日差しが、希望の季節の到来を私たちに伝えてくれます。

本日、この佳き日に、新潟市立小合中学校へ入学する 25 名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。
2、3 年生はもちろん、教職員一同、皆さんの入学を心から喜んでいます。

さて、新入生の皆さん、今、皆さんの胸の中には、中学校生活への大きな期待と願いがあるはずです。今、抱いている期待や願いを実現することはもとより、中学校 3 年間を通して、絶えず目指したい自分の姿はどのような姿であるのかを問い、そのために何をすべきかを追求し続けてほしいのです。

正面ステージ右側を見てください。小合中学校の教育目標である「自主 協力 創造」という額が掲げられています。自主 協力 創造 とは、進んでものごとに立ち向かい、学び、努力し続けるということ。責任を重んじ、仲間と協働を果たすということ。そして、常に向上心をもって工夫し、より善く在ろうと努める、ということです。皆さんには、目指したい自分の姿を明確にし、何をすべきかを追求して、実現するための努力を続けることを願っています。

その追求し、努力することのひとつにぜひとも加え大切にしてほしいことがあります。それは、おもんばか 相手を慮るということ。慮るとは、相手の事情や状態、感情に思いを巡らせ、気遣うということです。集団で活動する際、仲間を慮ることで、あなたの立ち居振る舞いは大きく変わります。

相手を慮る、と聞くと、とても難しいことのように感じてしまうかもしれませんが、今、皆さんは壇上に居る私のことをよく見てくれていますね。私はとても嬉しく感じています。なぜなら、私を見て話を聴く、ということは、私という存在を認め、尊重している、ということだから。この他にも、例えばあいさつや拍手、相づち、返事といった日常の当たり前の行為にも、相手を慮る思いが表現されます。仲間を慮ろうとするあなたの思いは、仲間の存在を認め尊重する行為へと繋がります。そして、それは仲間にとっても、あなたの存在を認め、尊重する姿勢へと繋がります。互いに慮り、互いに存在を認め、尊重し合えること。このような温かな風土を小合中の生徒ならびに教職員は当たり前とします。



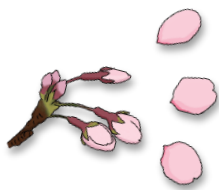
もうひとつ、大切にしてほしいことがあります。それは、仲間とともに、多くのことに挑戦し、やり抜く姿勢を持ち続けてほしいということです。今、社会は絶えず変化し、そのスピードも加速しています。想像を遥かに超えた事態に陥ることもあるでしょう。このような変化の激しい時代を切り拓いていくためには、高い志をもち、努力し続ける姿勢が不可欠なのです。

そのとき、重要なのは、集団の存在です。一人一人が「個性」であり、一人一人が「魅力」なのです。個性や魅力は、集団の中で認められ尊重されながら磨かれていくものです。ひとりではなく、先輩や仲間とともに挑戦し、協力して、最後まで成し遂げようとする姿勢は、きっとあなたをより大きく成長させることでしょう。多くの先輩や仲間と関わることを通して、自信をもって自己実現できる人物に育ってほしいと強く願っています。

校庭の木々や大地に、さらなる芽吹きを感じながら、新入生の入学を祝福し、式辞といたします。

(一部、省略)

新潟市立小合中学校長 永井 歓

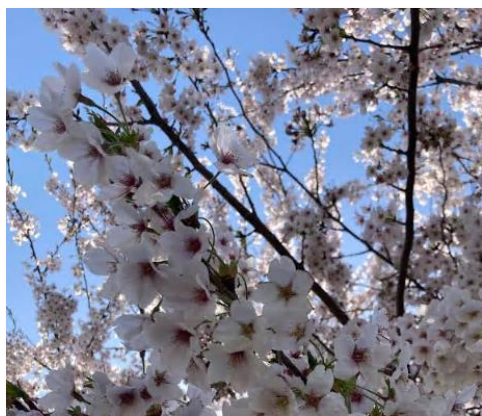


「歓迎の言葉」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから新入生の皆さんと学校生活を過ごせることを、在校生一同、心から楽しみにしています。

新しい制服に身を包み、小合中学校での新しい生活に心が躍る気持ちと、新しい生活への不安で、心がいっぱいだと思います。

1年生のころの僕もそうでした。新しい仲間、小学校とは違う日常の過ごし方、それらに戸惑いながらも新しい環境への好奇心が湧いてくる、そんな気持ちでいっぱいだったことを覚えています。ですが、いざ新しい仲間や先輩達と話すと、そんな不安は吹き飛んでしまいました。優しく接してくれる先輩と、緊張をほぐしてくれる同級生。そんな環境に僕は、助けられました。周りのお陰で学校生活を楽しく過ごせるようになりました。皆さんも小学校と違う活動が多い中学校でわからないことが多いと思います。そんな時は悩まずに、ぜひ先輩や、先生方に声をかけてみてください。そして、ぜひ学校生活を楽しく過ごしてください。また、小学校とは違い、勉強のレベルが上がるだけではなく、部活動もあります。どちらも両立していくのは、難しいと思います。でも、難しいからといって、自分のやりたいことを諦めないでぜひたくさん挑戦してってください。



部活動以外にも、小合中学校の行事として体育祭や合唱祭などの学校全体が盛り上がるイベントが多くあります。イベントを楽しみに普段の学校生活を過ごしてみるのも良いと思います。皆さんの中で中学校3年間は長いと感じる人もいますが、中学校生活というのは、あっという間に過ぎていってしまいます。だから、一日一日を大事にして、たくさんの思い出を作り、たくさんのことを学び、たくさんのことに挑戦してください。

新入生の皆さんと楽しい日々を送れることを、心より楽しみにしています。

在校生代表 ○○ ○○



「誓いの言葉」



やわらかな春の日差しが心地よく感じられる季節となりました。

本日は、私たち新入生のために、このような立派な入学式にて門出を見守っていただき、ありがとうございます。私たち新入生 25 名は、6 年間の小学校生活を終えて、今、新しい制服を身に着け、夢と希望、そして少しの不安を胸に、この伝統ある小合中学校で新たな一步を踏み出そうとしています。

私たちは、これまでの小学校生活の中で多くのことを学びました。その中でも、クラスみんなで様々なことに取り組む中で、「友だちと支え合うことの大切さ」を学びました。運動会や児童会祭りなどの行事はもちろん、日々の授業や生活の中でも、悩んでいる時や苦しい時に声をかけ合い、お互いに支え合いながら活動しました。小合中学校でもこの経験を生かし、新しい仲間とともに支え合いながら、様々なことに挑戦していきます。

また、私は中学校での勉強はもちろんのこと、運動も頑張りたいと思っています。私は小学校 4 年生から水泳を始め、練習に励んできました。中学校では、今までに経験したことのない運動にも積極的に取り組み、心身を鍛えたいと思っています。

最後になりますが、私たちは、今日の感激を忘れずに小合中学校の生徒としての自覚をもち、実りのある中学校生活を送っていく決意です。先生方、先輩方、どうかよろしくお願いいたします。



新入生代表 ○○ ○○

校長 永井 歓（前任：新潟市立白新中学校）

すれ違うたびに挨拶をしてくれます。授業中に教室をのぞいて目が合うと、にっこりと会釈してくれます。図書館が大好きという人が沢山います。「かん先生！」と下の名で声をかけてくれた人がいます。ひととかかわることが大好きな人が沢山います。…とても嬉しいです。わくわくしています♪

教諭 近藤 郁子（前任：新潟市立亀田西中学校）

この度、小合中学校でお世話になることになりました。自然豊かな環境の中で、生徒の皆さん、そして保護者の方々、地域の方々と様々な活動ができることを楽しみにしています。新しい出会いに感謝して頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

教諭 佐藤 詩織（前任：新潟市立横越中学校）

横越中学校から異動してきました。勤務初日の職員玄関で、三年生が作ってくれた歓迎の掲示を見て、緊張がほぐれ、とても温かい気持ちになりました。生徒の皆さんが安心して、充実した学校生活が過ごせるよう力を尽くします。よろしくお願いいたします。

教諭 舟田 茜（新採用・新潟市立亀田西中学校）

新任教員の舟田茜と申します。明るく、温かな雰囲気のある小合中学校に来ることができてとても嬉しく思っています。子どもたちの成長を支え、保護者の皆様と連携しながら、明るく楽しい学校づくりに努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

地域教育コーディネーター 高橋 寿美（新採用）

学校と地域のつながりが減少傾向になりつつある現代、学校と地域共に活動できるよう情報収集や発信を頑張っていきたいと考えております。生徒の皆さん・地域の皆さんの笑顔の花がたくさん咲き誇るよう、楽しく元気に活動していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

用務員 小倉 孝明（前任：新潟市立横越小学校）

今年度からこちらの学校に勤めることとなりました。皆さんが健やかに暮らしやすい環境を造っていただけるよう務めて行きたいと思っています。気軽に声をかけてください。よろしくお願いいたします。

